

はやま もり
麓山の杜みどり通信

発行元 公園振興事務所「とんがりふれあい館」
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

寒肥など管理のひと手間で春の目覚め快適に!

干支の組み木 教室作品



平成23年度「みどり講習会」

次回 3月11日(日)午前・午後開催
場所 麓山の杜『杜のエントランス』

テーマ 「記念樹の育て方初歩講座」
時間 午前 10:30 午後 13:00

なお、講習会参加者を対象に年度末イベントで抽選により樹木のプレゼント!

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

ガーデニング ワンポイント

退治しにくいカイガラムシ等はこの季節に消毒です!

明けましておめでとうございます。震災、原発事故、水害と続いた年が明けても未だ先の見えない状態です。ただいくら望んでも3月11日以前には戻れません。それならば前向きにこの郡山で緑に接し自然の逞しさとともに生きていきましょう。

【水やり】 植えつけてまもない物は、寒風により乾きやすくなります。これからの時期でも注意が必要です。暖かい日の昼前頃に樹幹全体に水やりをします。また風よけやマルチングで乾燥を防ぎます。鉢植えは特に乾燥に注意が必要です。

【肥料】 これからが寒肥の時期です。油粕などの有機質肥料をあげます。発酵済みの肥料の場合はもう少し後で大丈夫です。

【病害虫防除】 退治しにくいカイガラムシなどは冬季に行う石灰硫黄合剤やマシン油乳剤散布が効果があります。晴天が続くような無風の時に散布します。ただ倍率など散布方法に注意が必要です。

【剪定】 落葉樹の剪定はこれからが適期となり強剪定も可能になります。大きな切り口には癒合剤を塗り少しでも腐朽の進行を防ぎます。常緑広葉樹は春まで待ちます。マツは古葉を取ったりするもみ上げといわれる作業の時期です。同時にこみあっている枝は間引きをします。すっきりとした樹形に仕上げる事が出来ます。

【植え替え】 常緑樹は厳寒のこの時期はむきません。針葉樹、落葉樹は厳寒期後が適期になります。植え替えの場合は土壌改良が必要になります。



ミニ門松 教室作品

記念樹交付日イベント・緑化相談等予定表

交付予定日	みどり講習会	当日のイベント
3月11日	記念樹の育て方初歩講座	講習会参加者（だれでも参加可） 抽選にて「記念樹指定樹木プレゼント」

寒い時期の管理ポイント

寒肥の効果について

樹木も人間と同じように栄養が必要です。光合成や菌根菌などでも補給されますがチッソ（N）、リンサン（P）、カリ（K）の三要素をはじめとして多くの肥料成分を育っていくには必要です。それを施す時期がこれからの寒い期間です。肥料の種類としては油粕、鶏糞、牛糞などの有機質肥料が向いています。それに腐葉土を混ぜると土壌状態も格段に向上します。ではなぜこの時期かと言うと今は根の活動が止まっている時で肥料の効果が出る頃にちょうど根が活動を始める時期になるからです。方法としては樹冠の外周直下周辺を掘り起こし其処に肥料を混ぜ込みます。深さはなるべく深いほうが良いのですが、全体的に掘るのが面倒な時は所々を壺状に掘ってそこに埋めても効果があります。それを何年かに分けて位置を変えて行っていくようにします。サツキツツジ等の低木の場合は緩効性有機質肥料を上から根元の周りに撒いても大丈夫です。今より後の暖かくなってからの場合は発酵済みの有機質肥料を用います。

「冬の水やり」のポイント

寒い季節は、水やりを少なくして植物の糖濃度を上げて凍りにくくします。

冬の野菜（ホウレンソウなど）が甘く感じるのは、厳しい寒さから身を守るため糖濃度が濃くなっているからです。水は0℃で凍りますが、砂糖水はそれ以下にならないと凍らないということと同じです。寒さ対策には、水やりを少なくし乾燥気味に育てることが大事だということになります。

落ち葉の処理について

今回の落ち葉は、放射能汚染を心配して腐葉土などで再利用の人は少ないと思います。利用しないだけに秋からそのまま放置されていますが、ゴミとして焼却できますので処理してください。

荒池公園の樹木も除染実験が行われているので、参考に郡山市ホームページを開いてみてください。落葉樹は針葉樹ほど放射能の汚染状況は高くありませんが、チェルノブイリ事故の経験から「落葉樹の場合次の年の葉っぱにはセシウムは出ない。5～6年後には落ち葉が土化して沈着していたセシウムがまた吸いあげられて葉っぱが高くなる」と言われています。まだまだ確かなことはわかりませんが、少しでもセシウム減らすためにやってみてはどうでしょうか。